

学科学年	MED S1年	科目 分類	生物学 Biology	講義 必修	H22前後期 1履修単位	学習教育目 標 2	担当	高橋 孝洋 Takahiro Takahashi
概 要	生命の成り立ちから現生の全ての生物種にいたる進化の道筋を軸に、生物に共通する基本的な仕組みについて学び、ヒトだけが特別な存在ではないことを再認識する。その上で、科学技術に驕ることなく、生態系に対して謙虚に向き合う姿勢を培う。							
科目目標 (到達目標)	細胞の構造と機能、代謝、遺伝などを通してヒトと他の生物との共通点、相違点などを学び、生命体としてのヒト（自分自身）の理解を深める。							
教科書 器材等	高等学校 新編 生物 I（啓林館） 解説用プリント							
評価の基準と 方法	定期テスト(中間および期末)80%、ノートのまとめおよび課題の提出を20%として総合100点満点で評価する。また、授業に対する取り組みの姿勢も評価の対象とする。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回		生命発生から現生生物までの進化過程の概略						
第 2回		細胞の構造と働き						
第 3回		生物体の構造						
第 4回		生殖と発生						
第 5回		生殖と発生 遺伝の法則						
第 6回		遺伝の法則						
第 7回	×	中間試験						
第 8回		中間試験の返却と解説 遺伝の法則						
第 9回		遺伝の法則						
第10回		遺伝子の本体						
第11回		遺伝子の本体						
第12回		DNAの働き						
第13回		DNAの働き						
第14回		代謝 同化と異化						
第15回		代謝 同化と異化						
第16回	×	期末試験						
オフィス アワー								
授業アンケート への対応								
備 考								
更新履歴	2010/03/22 更新							